

家づくりを物語に

Home with a Story

建築実例集

工房信州の家



contents

- 01 陰影の家
- 02 大型犬と暮らす、土間リビングの家
- 03 “好き”を心のままに楽しむ
- 04 本棚が家族の物語になる家
- 05 趣味を思いきり楽しむ！DJブースのある家
- 06 自然と共に暮らし、育む家
- 07 質感のある家
- 08 4匹の猫とくつろぐ家
- 09 仲間と集う、秘密基地のある住まい
- 10 シンプルに。素材の経年を楽しむ家
- 11 浅間山の山麓に佇む家
- 12 北アルプスを愉しむ、ラク家事動線の家
- 13 山裾からの眺めを堪能する家
- 14 グレーカラーのバルのような平屋
- 15 キャンプするように人生を遊ぶ__平屋
- 16 余白の家__平屋
- 17 Barのある家__平屋

信州を楽しむ豊かな住まい

まるで森の中にいるように深呼吸がしたくなる、良質な素材にこだわった住まい。

さりげなく居心地の良い空間でありながら、次は何をしようかと楽しみを増すような暮らし。

「信州を楽しむ 豊かな住まい」をキーコンセプトに、一棟一棟心を込めて作り上げてきた実例と、そこに住まうご家族の声を紹介します。



01

陰影の家

安曇野市 K様邸



こだわりの照明と自然素材が生み出す陰影が、
唯一無二の空間をつくり上げる。
家は、家族が心から落ち着ける場所。
影の深みをたのしみながら、くつろぎのひとときを。

竣工 2022年11月
敷地面積 480㎡ (145坪)
延床面積 159㎡ (48坪)
家族構成 夫婦・お子さん1人

[\click/](#)



[more photos](#)





2階の共有スペースは窓を多く配置し、自然光で明るい印象に。山並みと田園風景、安曇野らしい景観を楽しむ。(上)
ゆるやかな勾配の片流れ屋根。下屋の掛け方や窓サイズ・位置のバランスにこだわった。外構もなるべく自然のものを使い、周辺の景観を邪魔しないデザインとした。(下)



キッチンダイニングは節材のサワラで仕上げた。圧迫感を感じないよう、視線が抜ける間取りとし、階段やリビングの珪藻土壁とのバランスも考慮した。(上)
2階のカウンタースペースから窓越しに、北アルプスの山並みを楽しむ。(下)

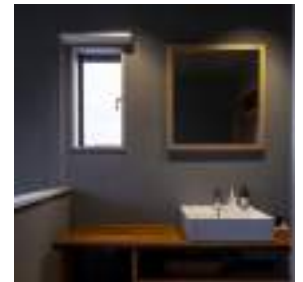
owner's voice

信州へ来て数年、仕事も落ち着き、家づくりを考え始めました。元々自然素材の家を希望しており、いくつかモデルハウスを見て回る中で工房信州の家が私たちのイメージにピッタリでした。特に県産赤松の無垢床の質感が決め手になりました。

コンセプトは「陰影」を大切にすること。煌々と照らされた、全てが明るく見える空間はオフィスで十分。心が休まる家をつくりたかったので、Barのような落ち着きを目指しました。照明計画は、デザインから色合い、色温度まで担当のインテリアコーディネーターと一緒に、妥協せずこだわり抜きました。

キッチンはWOODONEのII型フレームキッチンをベースに、コの字型になるようカウンターを計画。まさにBarのような雰囲気でありながら、実用的で使いやすいので家族のお気に入りの場所です。

家に帰るとほっとします。ライティングの陰影を楽しみながら、くつろぎのときを過ごしています。



リビングに据えた薪ストーブ。炉台は鉄板、炉壁は珪藻土塗でスタイリッシュな印象。スポットライトが壁面を照らし陰影が生まれる。(左)
2階の洗面は、木曾の家具工房で製作したオリジナルデザイン。天板はミズメの漆拭き仕上げ。(右)

02

大型犬と暮らす、 土間リビングの家

安曇野市 S様邸



安曇野らしい景色を見晴らす土地に、お手製のドッグラン。晴れの日も雪の日も、外で過ごすのが大好き。快適に暮らすための工夫があるから、家族みんな、おおらかに日々を送ることができる。



竣工 2021年4月
敷地面積 497㎡ (150坪)
延床面積 96㎡ (29坪)
家族構成 夫婦・お子さん1人・犬2匹



owner's voice

大型犬2匹が走り回れるドッグランを作りたい、のどかな場所で、景色も良いと最高！そんな思いで土地探しを始めました。当初から今の土地が気に入っていましたが、本当にここで良いか悩んでおり土地ツアーをお願いすることに。短期集中で土地を比較検討できたので、この土地が自分たちにぴったりだと再確認し、決定することが出来ました。

家も、犬と楽しく快適に暮らせるよう、あちこちに工夫をしました。無垢の床はそれだけで気持ちよく、2匹ともいつも床にベタンと横になりリラックスしています。リビングは一段下がり土間タイル仕上げ。夏はひんやり、冬は薪ストーブの温もりでぽかぽか。造り付けのソファもあるので、家族みんなのくつろぎの場です。他にもウッドデッキからつながる犬土間をつくり、前室として散歩後に足を拭いたり、ご飯を食べたり。汚れても気にならないスペースはとても重宝しています。



オープンなアイランドキッチン。背面の造作棚にはお気に入りのキッチンツールが並ぶ。カウンター部分はコンクリート調の塗り仕上げとした。



リビングは土間（タイル）仕上げ。造作ベンチをつくりつけ、掃き出し窓を介しウッドデッキとフラットにつながる。（上）奥様がこだわった、薪ストーブまわりのデザイン。炉台・炉壁は長野古牧展示場をイメージし、ブラックの鉄板+タイル仕上げに。炉壁に並ぶ窓のファブリックにもお気に入り。（左）



北アルプスと麦畑、安曇野らしい景観に寄り沿う外観。ドッグランや薪小屋まで、ご家族の手づくり。（左）造作洗面台。イエローの塗壁・タイルがアクセントに。洗面カウンターはキッチンと同素材で統一感を。（中）栗材の玄関収納。選んだ照明にもセンスが光る。（右）

03

“好き”を心のままに楽しむ

松本市 W様邸



オフには仕事のことを忘れ、好きなことに熱中するために大切にしたのは、家じゅうにゆとりがあること。ゆとりをつくりこんだ空間には、自分の「好き」を心のままに楽しむ豊かさがある。

竣工 2022年1月
敷地面積 582㎡ (175坪)
延床面積 187㎡ (56坪)
家族構成 夫婦、犬3匹





キッチンの壁には石を施した。無垢の木と珪藻土で構成された空間を引き締めつつ、重厚感がある。(上)
土間サロンとダイニングの間の開口も大きく、空間に一体感をもたせながら、天井の材質を変えて変化をつけた。(下)



屋根付きのテラスで趣味の自転車のメンテナンスを。複数台置いてもゆとりがあるので、ストレスはない。(上)
玄関から土間収納を介し土間サロンへと抜ける便利な動線。趣味のスニーカー収集のために大容量の収納棚をつくった。(下)

owner's voice

家を建てるなら贅を極めた家になりたいと思っていた私たち。ある日ふらりと立ち寄ったのが、工房信州の家の松本展示場でした。はっきり言って求めていた家の雰囲気とは違いましたが、この家を使っている自分たちを想像できたんです。その後に訪れた長野古牧展示場で、これがそのまま建つなら、建てても良いかなと思えました。

今では、3匹の愛犬が家の中も外も嬉しそうに走り回っています。コーヒーカップを手にその様子を眺めたり、土間サロンやテラスで自転車のメンテナンスに熱中したり。以前展示場で思い描いたように、自分の「好き」を心のままに楽しめています。

工房信州の家は、たとえば目透かし天井の仕上げなど、細かなこだわりの積み重ねが空間の質感を上げています。家づくりに関わるすべてのスタッフがそういう小さな努力を重ねながら、連携も取っている、そのチーム力に感心しました。住まいづくりを振り返っても、この家でよかったと思っています。



2階の廊下の棚には、思い入れのあるラジコンカーなどをディスプレイしている。(左)
シンプルな切妻造りながら、木部がアクセントになり、風格を感じさせる外観。(右)

04

本棚が家族の物語になる家

長野市 S様邸



リビング壁一面の本棚は、
時を経て成長していく、家族一人ひとりの心の姿見。
引渡しが家の「完成」ではなく、時間をかけてゆっくと、
自分たちの色になるのを愉しむ住まい。

竣工 2021年3月
敷地面積 350.8㎡ (105.9坪)
延床面積 114.2㎡ (34.5坪)
家族構成 夫婦・お子さん2人





リビングと土間サロンとの間も仕切らず、程よい段差で連ねる。両方の空間に一体感が生まれ、より広々使える。(上) 敷地の傾斜に合わせて、リビングより一段高い小上がりを設けた。視線の抜けも良いし、目線の変化も面白い。(下)



キッチンには、ダイニングテーブルも兼ねたL字のカウンターを計画。視線が自然と合うように、キッチン側は一段下げた。

owner's voice

仕事の都合で、長野市から動くことはもうないだろうと、家づくりを進めることに。

展示場のナチュラルな雰囲気が良く、信州の自然の中で庭や畑をつくり、子育てをするのにぴったりだと思いお願いすることになりました。

一番のこだわりは、何ととっても、西側の壁一面の本棚です。子供たちが気軽に本に触れられる家にしたかったので、思い切って壁全体に計画。吹き抜け分は2階部分まで続くようにしてもらいました。月に一度、家族全員で書店に行き、好きな本を選んでいますが、まだまだ埋まりません。

慌てて埋めてしまうのももったいないし、最初から並べつくすのもつまらない。家族の成長と共に、時を経ながら変わっていくことを愉しみに暮らしていきたいと思えます。



リモートワーク用の書斎。2畳分の部屋をぐるりと囲むコの字型カウンター。(左) 選木ツアアの切株を玄関棚に。(右)

05

趣味を思いきり楽しむ！ DJブースのある家

塩尻市 K様邸



とことんこだわって作った念願のDJブース。
自分が趣味を満喫するための空間のはずが、
気付くと子どもたちと一緒に楽しんでいる。
ここに立つと、つくって良かった、と心から思う。

竣工 2018年10月
敷地面積 503㎡ (152坪)
延床面積 169㎡ (51坪)
家族構成 夫婦・お子さん2人、両親

[\ click /](#)



[more photos](#)





手入れの行き届いた芝生の庭は子どもたちも大好きな場所。土間サロンとつながり中も外も自由に走り回ることができる。(上)
 キッチン正面壁はタイル貼り仕上げ。カウンターで朝食をとったりお茶を飲むことも。照明の間に下がるドライスワッグは奥様手作り。(下)



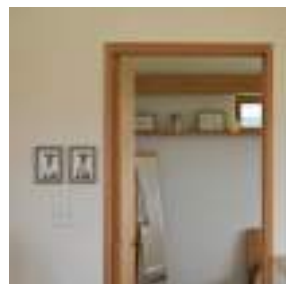
二世帯共有玄関には6人分の靴が収納できるよう大容量のシューズクロークを設けた。(上)
 洗面コーナー入口の垂れ壁は家型に。(下)

owner's voice

家を立てるときには実家に戻ろうと決めていました。二世帯住宅＝上下階分離だと思っていたのですが、諏訪展示場の二世帯がヨコにつながる設計を見た時に衝撃を受けました。既存の建物をどの程度残すか、どのくらい分離するかなど悩むことはたくさんありましたが、「既存の離れを残した左右分離」プランは、家族みんなにベストな二世帯住宅になったと思います。

植物を飾れるところがたくさんできたので、鉢植えを買い集めたり、ドライスワッグを手作りしたり、緑を増やすことが新たな趣味になりました。築三年目ではありますが、子育てはまだまだ現在進行中です。

階段下に設けたDJブースは一番こだわって作ったお気に入りの場所。専用のスペースを設けたことで機材もちゃんと置いて日常生活にも邪魔にならないし、照明や配線など細かいところまで打ち合わせて決めたので使い勝手もバツグンです。アパートでは中々できませんでしたが、やりたいときにいつでもできる、というのが一番うれしいことですね。



階段下のDJブース。壁は大谷石張りとし空間を引き締めた格好いいデザイン。(左)

06

自然と共に暮らし、 育む家

茅野市 M様邸



環境の良さを求め移り住んだ信州。
暮らしの中で大切にしているのは、家族の成長に合わせ、
家の中も外も手を入れ育むこと。
自然に寄り添い、自分たちも自然体で日々を過ごすこと。

竣工 2021年5月
敷地面積 566㎡ (171坪)
延床面積 105㎡ (31坪)
家族構成 夫婦・お子さん2人、犬

[\click/](#)



[more photos](#)





八ヶ岳を望む東面に土間サロンを配置。上部を吹き抜けにしたことで開放感も抜群。フルオープンサッシでワイドに自然と繋がる。(上) 南西の開口部からも陽が差し込み、明るいリビング。中心には選木ツアードで選んだ6寸の大黒柱が。(下)



リモートワークをする書斎。窓の先にも豊かな緑があり、仕事もはかどりそう。(上) コーヒー器具やお気に入りのキッチンツールを並べて楽しむオープンシェルフ。(下)

owner's voice

環境の良さを求め信州・八ヶ岳エリアへ移住をしました。土地探し期間は約1年。分譲地の情報もありましたが、せっかく信州に住むなら自然に囲まれた暮らしがしたいと思っていたところ、八ヶ岳がダイレクトに見える今の土地に出会いました。寄合いでは地域のことを教えて貰えるし、子どもたちもどんど焼きなどの行事が楽しい様子。お隣さんも畑で採れた野菜を持ってきてくれたり…地域の皆さんが歓迎してくれているのを感じます。我が家も家庭菜園に挑戦中。自作の野菜が食卓に並ぶのは嬉しいですね。夏場は雑草との戦いですが、庭もなるべく自然のままを活かし、ゆっくり時間をかけて手を入れていくつもりです。

標高1,000m。猛暑続きだった昨年の夏もエアコンいらずでした。エアバス工法の効果はすごいですよ。季節の変わり目に換気口を開閉すると、体感気温が全く違いそのたび驚きます。四季の変化を肌で感じる、信州ならではの暮らし方ですね。



オープン機能付きの薪ストーブ。ピザやパン、煮込み料理など冬場は調理器具としても活躍する。(左) 薪割り、庭仕事、DIY。自分たちで手を入れながら暮らす上でかかせない、タフに使える外回り。軒を長くしたことで、外土間からウッドデッキまで天候に左右されにくい。(右)

07

質感のある家

原村 S様邸



異素材の組み合わせを楽しみながらモノトーンでまとめあげた空間を、季節の草花が彩る。自然と絵筆をとり、日々の美しさを切り取りながら丁寧に暮らす住まい。



竣工 2022年12月
敷地面積 231㎡ (70坪)
延床面積 102㎡ (31坪)
家族構成 夫婦

[\click/\](#)

[more photos](#)

owner's voice

工房信州の家の完成見学会のチラシが入り、見に行ってみようと訪れたのがきっかけでした。元々この場所には祖父が住んでいた離れがあり、自分たちでリノベーションをしようかと考えていたのですが、その見学会で新築に心が決まりました。その後は他の会社も含め、展示場・見学会と見て回りましたが、工房信州の家の決め手は、木の使い方とデザイン性。無垢材と珪藻土壁のバランスが良く、巾木や天井見切りなど細かなところにも上質さを感じました。

我が家には、無垢材や珪藻土以外にもタイルやアイアンなど、異素材を取り入れました。一つ一つの素材の手触りを大切に、質感のある家になったと思います。八ヶ岳の景色を切り取るような窓計画もこだわったポイントです。山並みを眺めながら、絵を描いたり本を読む時間に癒されています。



地窓を設けたモダンなデザインの和室。光を抑えた神秘的な空間で、瞑想し心を整える。



バランスのよい異素材の組み合わせにセンスが光る。色づかいにもこだわり、全体をグレーやモノトーンでデザインでまとめた。(上) 空間をすっきり見せつつ使い勝手も良いセパレートキッチン。背面の壁はタイル張りに。(左)



あえて高さを抑え目線の位置に設定した窓。八ヶ岳を絵画のように切り取る。(左) 思い切り大きくした土間リビングに薪ストーブを。冬は温もり、夏はひんやりする快適な空間。(中) こだわりの照明が、塗り壁の質感を柔らかく映し出す。(右)

08

4匹の猫とくつろぐ家

長野市 H様邸



ひとつながりの空間は、各々の時間を過ごしながらも互いを感じ一体感がある。一緒にいたり、離れてみたり。人も猫も、そのときの気分で気ままにくつろぐ住まい。

竣工 2023年7月
敷地面積 242㎡ (73坪)
延床面積 169㎡ (51坪)
家族構成 夫婦・お子さん1人、猫4匹





日当たりの良い土間サロンは、4匹の猫が思い思いに過ごす空間。ご飯もトイレも、汚れが気にならないのは土間ならでは。冬は日向ぼっこをし、夏はひんやり気持ちがいい。(上)
長野古牧展示場をイメージした、シンプルなデザインの外観。雨の日でも濡れずに玄関に行ける、便利な建物一体のガレージ。(下)



松本市の“Rooms”制作のII型キッチン。フロートタイプのデザインにこだわった。(上)
ダイニングキッチンとリビングの空間を程よく分ける家具。リビング周りの収納も兼ねているのでスッキリしめる。(下)

owner's voice

元々は二世帯住宅の二階部分に住んでいましたが、夏がとても暑く、もうこのまま住めないかと思い家づくりを考え始めました。そんな時に長野古牧展示場を見学し、完全に“ジャケ買い”でした。

キッチンが直接目に入らない古牧展示場のリビングを採用し、くつろぐ想定でしたが、気付くとダイニングや土間サロンで時間が経っていることも。結局家のあちこちでくつろいでいます。また、4匹の猫と楽しく暮らせる工夫もしました。運動用のキャットステップをつくり、外の景色を眺められる窓配置にしたり。土間サロンは猫の食事スペースとしても活躍。掃除もしやすく、夏場はひんやりして心地よさそうです。

暮らし始めて大きく変わったのは、観葉植物が好きになったこと。毎朝早起きし1時間程手入れをするようになりました。癒しの時間です。外出しても家に合うグリーンを探しては連れ帰り、妻に「これ以上は置けない」と言われています(笑)。



2階にはご主人の大切なウイスキーをディスプレイ出来る棚を計画した。すぐ隣のカウンターでひとり時間を楽しむ。(左)
リビングには造り付けのソファを。背面の格子建具は外から見てもアクセントに。(右)

09

仲間と集う、 秘密基地のある住まい

千曲市 O様邸



家づくりのテーマは「仲間と集まる最高の秘密基地」。
アウトドアギア、愛用の工具、カウンターテーブルにはお酒も。
好きを詰め込んだこの場所には自然と人が集い、
想像以上の最高のときを過ごす。

竣工 2022年10月
敷地面積 692㎡ (209坪)
延床面積 119㎡ (36坪)
家族構成 夫婦・お子さん2人

[\click/\](#)



[more.photos](#)





上田展示場をイメージしたリビングダイニングと、フルオープンサッシ。(上)
階段一段目のスタディーコーナーはキッチンから目が届く位置。お子さんが2人並んで
お絵がきしたり、将来は宿題も。腰壁があるのでおもちゃもスッキリしまえる。(下)



奥様こだわりの木製オープンキッチンは
WOODONE。フルフラットのデザインは空間を
広く感じさせる。(上)
一段下がりのサブリビングは、スクリーンを下
ろすとシアターコーナーに。(下)

owner's voice

知人が建てたのをきっかけに工房信州の家を知り、県内各地の展示場もたくさん巡りました。使う素材は同じでも展示場ごとにテイストが違うので、見学するうちに自分たちの好みが明確に。リビングダイニングがフルオープンサッシで開放的で、その先にフラットに縁側が繋がる上田展示場がとても気に入り、このイメージで建てたい！と心が決まりました。

「人の家」という感覚を持たずに気兼ねなく集える、独立した秘密基地のような空間は我が家ならではのアウトドアギアをしまい、冷蔵庫も置いてお酒をストック。防音にしたので、音楽をかけながら仲間とお酒を楽しんでいます。コの字型の家にしたことで、大通り沿いでも視線が気にならず過ごせるのもポイント。土間仕上げなので、土足のまま中庭を歩き来し、薪割りやバーベキューも気軽にできます。こだわり抜いた空間は、家族や仲間と過ごす最高の秘密基地になりました。



階段はアイアンと木製笠木の手すりですタイリッシュなデザイン。(上)
玄関ポーチ横の植栽は手入れが行き届き、家族や訪れる人を優しく出迎える。(下)

10

シンプルに。 素材の経年を楽しむ家

小布施町 K様邸



シンプルな家は、月日が経っても色褪せることなく
家族のどんな暮らしも受け入れてくれる。
無垢な空間の中で光るのは「愛着が湧くように」と
選び抜いた素材たち。

竣工 2022年5月
敷地面積 259㎡ (78坪)
延床面積 114㎡ (34坪)
家族構成 夫婦・お子さん1人

[\ click /](#)



[more photos](#)





将来は大型犬を飼う予定。愛犬と一緒にくつろぐための土間サロン。ソファもあらかじめ造りつけた。庭との出入りも自由になり、お子さんにも楽しい空間。(上)
窓配置を丁寧に、シンプルさにこだわった切妻屋根の外観。(下)



薪ストーブはAGNI-CC。炉台は芦野石。炉壁を天井まで立ち上げることで空間のアクセントになる。(上)

2階の共有スペースは開放的な空間。吹き抜けまわりの腰壁に棚を造りつけ、家族のギャラリースペースに。(下)

owner's voice

娘の誕生を機に、土地探しからの家づくりをスタートしました。小布施町の売地を見に行くと、周りの家が丁寧な庭づくりをしていて、暮らす人々の“街づくりへの意識”を感じました。そうした街の中に暮らすことを魅力的に思い、小布施町に住むことを決めました。

コンセプトは、間取りもデザインもシンプルに。ただど時が経つほどに愛着が湧く。そんな家になりたいと思ひ素材選びにもこだわりました。キッチンは無垢の栗材、収納の取っ手には真鍮、薪ストーブの炉壁や洗面にタイル、玄関収納にはラタン。どれも使い込むほどに深みが増す素材です。どんな味わいが出てくるか、今から楽しみます。

この家を建ててから、仲間を呼んでBBQやクリスマスパーティーが気軽にできるようになりました。娘も毎日家中を嬉しそうに駆け回りのびのびと暮らしています。何よりも、この家とともに成長する娘を見守ることができるのがいちばん嬉しいですね。



玄関収納はオリジナルデザインの造作家具。扉材はラタン、取っ手は真鍮。経年変化を楽しめる素材を選び採用した。(上)

11

浅間山の山麓に佇む家

御代田町 K様邸



街中のマンションから自然の中へ移り住んだことで家族が生き生きしていることに気が付く。中と外の曖昧さを求めつくった土間サロンが、自由な暮らしを後押ししてくれている。



竣工 2022年4月
敷地面積 996.5㎡ (301坪)
延床面積 108.98㎡ (32.9坪)
家族構成 夫婦・お子さん3人、犬

[\click/](#)



[more photos](#)

owner's voice



浅間山の稜線に沿うような片流れ屋根の外観。周りの木立ちに溶け込むような色使いとした。カーポートから玄関ポーチ、ウッドデッキにかかる下屋がアクセントに。

長野市の分譲マンション住まいで子育てをしていましたが、子どもたちの成長や3人目の誕生と共に手狭さを感じていました。その頃軽井沢へ転勤になったのを機に家づくりを考え始めました。夫婦ともに新潟の田舎育ちだったため、子供たちにもそんな環境でのびのびと成長してもらいたいと思いがあつたんです。

御代田の土地情報を調べている中で今の土地を見つけ、家族で見に行ったのが大きな一歩となりました。背景に浅間山の稜線がきれいに見えたり、土地の横にはナラの林の「どんぐり広場」があつたことも気に入ったポイントです。

若里モデルハウスの土間とウッドデッキが繋がる間取りが好きで、気軽に中と外を行き来できるような暮らしに憧れがありました。また、薪ストーブも必須条件でしたね。おかげで今は家族みんなが家にいる時間が増え、ウッドデッキをDIYしたり、薪割り、畑づくり、草刈り、落ち葉掃きなど…自然の中に身をおきながら暮らすことが贅沢だな、と感じる毎日です。



土間サロンは子どもたちもペットも、みんなが自然と集まる場に。こだわりの薪ストーブはスキャンサムElements4003S。3面ガラスで炎が美しく楽しめる。(上)
「カラマツをアートに。」理念に惚れ込んだダイニングテーブルはアトリEm4制作のもの。(左)



洗練されたデザインの和室。オープンすぎないつくりで落ち着きを感じる。(左)窓枠はブラックを採用し、三方塗り仕上げとした。景色を切り取る額縁のような窓がお気に入り。(中) リサイクルパレットでウッドデッキを。割れや欠けがあるのも味になって良い。ご近所の方の力も借りて完成したDIY作品。(右)

12

北アルプスを愉しむ、 ラク家事動線の家

安曇野市 M様邸



北アルプスを一望できるロケーションと、
それらを見晴らす大きな窓。
安曇野を愉しみ溶け込むように暮らすことができるのは
一方で考えつくした機能性を兼ね備えた家だから。

竣工 2022年4月
敷地面積 500㎡ (151坪)
延床面積 135㎡ (41坪)
家族構成 夫婦・お子さん1人

[\click/](#)



[more photos](#)





リビングは吹き抜けや土間サロンともつながり縦横に広がる。(上)
キッチン背面の棚板や食器棚は栗材で統一。家電用のコンセントも壁の色味に馴染むようグレーのものを選んだ。家電はブラックで揃え落ち着きのある空間に。(下)



キッチンは一段下がりとし、カウンターに座る人と視線が合うようにした。好きなワインを愉しみながら会話が弾む。(下)

owner's voice

岡山県の実家が木と漆喰塗の薪ストーブがある家だったので、工房信州の家を建てることになんの違和感もありませんでした。以前は大阪で暮らしていたのですが、5月、主人の実家がある安曇野に連れてきてもらいました。その時見た北アルプスや田園風景が広がる景色が美しく、安曇野が気に入ってしまいました。大阪にいたとあまり季節を感じないんですね。ここは季節を目で見て肌で感じるができる。庭の草がのびるのすら良いな、と感じますね。

安曇野の景色に馴染みながら、また周りに大屋根の家が多いので地域の家とも調和する家にしたと思い、大屋根の外観にもこだわりました。家の中からも北アルプスを存分に楽しめるような窓計画や、共働きなので家事をラクにする動線や収納も重視して設計をしました。

家が完成してからは、道からの目隠しにもなる薪棚づくりに奮闘。今後はドッグランの柵をつくり犬も飼って、家族が思い切り遊べる庭づくりをしていきたいです。



土間サロンのハンモックは常設。揺られながら読書をしたり、娘さんと遊びながら過ごす。(左)
リビング一角に三方壁の畳コーナーを設けた。おもちゃが広げられていても気にならない、家事をラクにするアイデアの一つ。お昼寝やおむつ替えスペースとしても重宝する。(右)

13

山裾からの眺めを堪能する家

東御市 日様邸

雲海や夕焼け、遠くに八ヶ岳、北アルプス。
「この眺めを楽しみたい」と思いつくった大きな窓からの景色を贅沢に堪能しながら、
小さな窓の先に思いがけず見える四季の移ろいに心動かされる日々。



竣工 2019年10月
敷地面積 540㎡ (163坪)
延床面積 97㎡ (29坪)
家族構成 夫婦・お子さん1人

[\ click /](#)

[more photos](#)

owner's voice

東御市の実家は里山のふもとの、町や北アルプス、八ヶ岳の山並みを見晴らす場所。その眺めを楽しむ暮らしがたく、実家の敷地内に建築をしました。

朝起きていちばんにすべてのカーテンを開けるのが日課。季節、時間、天気によって大きく変わる眺めを日々楽しんでいます。最初はお気に入りのレースカーテンを付けていたのですが取り払ってしまいました(笑)。我が家はこの眺めを楽しむために南西に開く暮らしを望んでいましたが、あえて絞った南面の窓から、春は桜が見えたり、デザイン重視でつくったキッチン窓から見える木々の様子から四季の変化を感じたり…。住む前には想像していなかったお気に入りポイントが発見できたことが嬉しかったです。

これからは庭をもっと育てていきたいですね。土間サロンも今はキッズスペースのように使っていますが、ゆくゆくは庭越しに景色を楽しみながらご飯を食べたり、夜景を見ながらお酒を楽しむ空間にしていくのが今から楽しみです。



手づくりのウッドデッキは家族全員が大好きな場所。気候の良い時期はお昼を食べたり、夏は日よけを張って水遊びをする。小さな庭の手入れに夢中になる時間も、贅沢に感じる。



南西方向の景色を楽しむ土間サロン。現在は板を敷きキッズスペースに。土間サロンの天井はヒノキの板張り。(左) 壁を大きくとったことで落ち着くソファ配置ができる。絵などを飾れるようにビクチャーレールも計画した。(右)



家族総出でDIYをしたウッドデッキに座り景色を眺める。家族全員が大好きな場所。(左)背面の窓枠に合わせ栗材の飾り棚を。この窓から見える木々から、四季の移ろいを感じる。(中) シンプルな切妻屋根の外観。2階の階高を抑え、少しだけ軒をのぼし落ち着きある佇まいに。(右)

14

グレーカラーの バルのような平屋

千曲市 S様邸



お酒を片手に料理をしたり、
洋盆栽を愛でながら仲間と語り合ったり。
上質で洗練された空間ながら、肩の力を抜いて過ごせる、
バルのような雰囲気が魅力の住まい。



竣工 2023年3月
敷地面積 492㎡ (148坪)
延床面積 102㎡ (31坪)
家族構成 夫婦・お子さん1人



owner's voice



シンプルな平屋の外観。窓を絞った西面と対照的に、南面は開口部を大きく設け、庭とつながる。

結婚を機に家づくりを考え始めました。まず住宅展示場を見てみよう、と一軒目に入ったのが工房信州の家の長野古牧展示場。ホンモノ感があり、美しい素材の組み合わせで成り立つ空間に一目ぼれ。初めての見学にも関わらず、その時点で会社は決まりました。これも巡り合わせかな…と。

趣味の洋盆栽のための場所が欲しかったので、土間サロンは必須でした。とことんこだわった土間で、同じ趣味の仲間と洋盆栽を眺めながらお酒を飲むのが至福の時間です。また、二人とも料理とお酒が好きなので、料理をしながらお酒を楽しめるキッチンにしました。ワインボトルやグラスのディスプレイも楽しんでいます。

家全体のデザインも、グレーをテーマカラーに洗練された空間を目指しました。経年変化を楽しめるものが好きで、素材本来の質感を大切に、古くなっても味になり愛おしめる素材を選びました。工房信州の家が使う素材と私たちが目指す家づくりがマッチしてできた空間に、満足しています。



キッチンの手元を照らすペンダントライトは真鍮製。鎌倉の作家作品で、工房を訪ねオーダーしたこだわりのもの。(上) 土間サロンの一角は、ご主人の趣味のための空間。窓を大きく配置し光を取込みつつ、壁面もしっかり計画。(左)



土間サロンからフラットに繋がるウッドデッキ。長めに設定した軒下のため雨が降っていても過ごすことができる。(左) キッチン横の書斎にも、お気に入りのお酒のボトルが並ぶ。(中) トイレのアクセントウォールはテーマカラーのグレーに。照明はキッチンのペンダントライトと同じ作家の作品。(右)

15

キャンプするように 人生を遊ぶ_平屋

南信州 日様邸



東に南アルプス、西に中央アルプスが望めるお気に入りの景色に、テントを張ったような外観の平屋。夫婦の描く「小屋っぽさ」を、フォルムや素材で表し、小屋ではない伸び伸びした暮らしができる家。



竣工 2021年11月
敷地面積 500㎡ (151坪)
延床面積 93㎡ (28坪)
家族構成 夫婦・犬

[\click/](#)



[more photos](#)

owner's voice



床がコンクリートの土間サロン。黒色の天然土を混ぜたジョリパット（珪藻土）で仕上げた壁に、DIYで棚を設置。夫婦の趣味のキャンプギアを置き、メンテナンスも。

もともと愛知県に住んでおり、年に4、5回は長野県南部のキャンプ場に足を運んでいた私たち。山を下り、伊那谷の中へ身を置いてみると、南アルプスと中央アルプスがそびえていました。この南信州ならではの景色が格別気に入り、さっそく町の提供する移住体験へ。半年間で移住の気持ちも固まり、いつか家を建てるつもりで、仮住まいからスタートしました。

担当してくれた営業スタッフは、「普通の家だったら要らない」と考えていた私たちの思いに寄り添って、土地探しからサポートしてくれました。

自然の中に身を置くキャンプが好きで、家にも景色に溶け込むような要素をたくさん取り入れ、外壁の板張りもその一つです。また、本物の木を、なおかつ県産材を積極的に使い、山を良くしているという考えにも共感しました。今は新しい家族（バーニーズ・マウンテンドッグ）も迎え、毎日キャンプしているような感覚で過ごしています。



アカマツの梁に、ハンモックを吊るし、愛犬と一緒に。薪ストーブは一目惚れしたAGNI-CC。（左）
キッチン背面には、大きな窓があり、光がたっぷり取り込める。窓外には、自分たちの畑が広がる。余裕のある土地には、ドックランも計画中。（右）



タープを張ったように屋根がかかる平屋で、広いデッキ部分はテントの前室みたい。第2のリビングとして積極的に活用できそう。（左）リビングの大きな掃き出し窓の先には、ご主人が自ら手掛けた10畳を超える広さのウッドデッキ。南アルプスを眺めながらの休憩タイムが格別と奥様。（中央）天井はサワラ、柱はヒノキ、梁がアカマツ、床がカラマツ。すべて長野県産材を使用。（右）

16

余白の家_平屋

中野市 T様邸



「使い方が決まったフツウの家にしたくない」。
家に余白があるからこそ豊かな暮らしが生まれる。
コンパクトな平屋でありながら
家族が日々、思い思いの場所でくつろぐことができる家。

竣工 2021年10月
敷地面積 316㎡ (96坪)
延床面積 84㎡ (25坪)
家族構成 夫婦・お子さん2人

[\click/](#)

[more photos](#)





平屋の南面の窓は土間サロンの地窓のみ。思い切り絞った一方で南東のブドウ畑に向けて開口を大きくした。土間サロンからつながるテラスは、BBQをしたり庭作業の合間にお茶を飲んだり使い勝手が良い。(上)
二段下がりのピットリビング。「リビングにゴロンとなりふと見上げると、真っ白な壁なんだけど、なんかカッコいいと思う」と奥様が話す。(下)



平屋のロフト部分は2人の娘さんの部屋。秘密基地のようで楽しい。(上)
室内干しもできるランドリールーム。スロップシンクは予洗いに便利。(下)

owner's voice

元々はこの場所にあった実家の離れをリフォームし、10年ほど暮らしており、不便はないものの、どこかアパートに住んでいるような感じがしていました。たまたまふらっと見に行った長野中央展示場の土間サロン。住む場所に困っていた訳ではありませんでしたが、夫婦共に気に入ってしまい、思い切って建替えを決意しました。

具体的なオーダーは家族みんなで料理ができるCUBEキッチンだけ。「2LDK、ダイニングテーブルやソファを置く」というようなよくある間取りは嫌だったので、「フツウの家、使い方が決まった家にしたくない」とだけ伝えてプロにお任せしました。担当スタッフはむしろそれを喜んでくれて様々な面白いプランを提案してくれました。家族が思い思いの場所に腰かけ、くつろぐことが出来る空間が気に入っています。広い土間サロンや二段下がりのリビング空間も「使い方を決めていない」ので、それが余白のように感じ、自由に過ごせるのが楽しいです。唯一のオーダー、CUBEキッチンでは子供たちと色んな話をしながら料理したり、薪ストーブのオープンでパンを焼いたり…この家でおうち時間を満喫しています。



キッチン横の掘り込みニッチ棚は家のかたちとし遊び心を。背面棚にはお気に入りの小物がセンス良く並ぶ。

17

Barのある家_平屋

上田市 M様邸



お気に入りのクラフトジンが並ぶBarのような住まい。
こだわりの空間を眺めながら飲む至福の時間。
夫婦だけの楽しみは、気付くと仲間を招く楽しみに。

竣工 2022年12月
敷地面積 317㎡ (96坪)
延床面積 112㎡ (34坪)
家族構成 夫婦

[\click/](#)



[more photos](#)





南に葺き下ろす片流れ屋根と2台分のカーポートが特徴的な外観。道路側の窓を絞ったことで、外壁の塗の質感が引き立つ。(上) ウッドデッキで過ごすことも多い。3時間かけて燻製したり、BBQも楽しむ。朝起きて一番にウッドデッキに出て庭を眺めるのが日課。(下)



キッチンの落ち着いた空間と対照的に、リビングは光もたっぷり入る明るい空間。(上) ご主人の書斎は縦格子でリビングとほどよく区切った。(下)

owner's voice

一生に一度の家づくりは、自分たちが満足いくデザインの家にしたい、と思っていました。

私たちはジンやウイスキーなどおいしいお酒をじっくり味わうのが好きで、Barのような雰囲気キッチンを目指し、ひきずり仕上げの塗壁に、お気に入りのボトルを並べる棚、そこに間接照明を計画しました。

2人で料理をしたり、お酒を飲む時間を大切にすると同じくらい、1人の時間に没頭できる空間づくりも重視しました。夫は縦格子でリビングとゆるくつながる書斎に。私は好きなものに囲まれる自分だけの個室書斎に。夫婦それぞれの個性ある空間ができたと思います。

我が家の象徴のようなキッチン空間は、その眺めをつまみに飲めるほど気に入っています。

ただ、自分たちで楽しむ以上に家に来てくれた人にもこの時間を味わってもらいたい、最近そんな気持ちが湧いてきているのは大きな変化かな、と思います。



奥様の書斎は個室にした。好きなものに囲まれる自分だけの空間。(左) シンプルなデザインの玄関も、ペンダントライトで個性的な印象に。(右)

あなたの
家づくり物語を
一緒に。



www.kobo-shinshu.com

◇他にもたくさんの実例をHPで公開中！

工房信州の家



フォレストコーポレーション

〒396-0027 長野県伊那市ますみヶ丘7352-1

- 掲載の実例に関する情報は、取材・撮影時のものです。
- 印刷のため、実物とは多少異なる場合があります。
- 掲載の写真には、一部標準仕様以外のものが含まれる場合があります。

◇SNSで動画も公開中！ follow me ♪



202403forestcorp